

# 目 次

まえがき.....i

## I 脂質総論

1 脂質総論 .....	井上圭三... 3
1 「はじめに」および「定義」 3	
2 構造的分類 4	
2.1 単純脂質 4	
2.2 複合脂質 5	
リン脂質 5 / 糖脂質 5 / その他 5	
2.3 誘導脂質 5	
3 機能的分類 6	
3.1 エネルギー源としての機能 6	
3.2 細胞膜構成成分としての機能 6	
絶縁体としての機能 6 / 「dynamicな膜構造」を維持するための機能 7 / 特定タンパク質と相互作用してその活性を修飾する機能 7 / 水溶性酵素、水溶性基質に反応の場を提供する機能 7 / 膜「受容体」あるいは「マーカー」とし	
ての機能 8 / 膜への「アンカー」としての機能 8 / 肺胞サーファクタントの成分としての機能 8 / メディエーターなど新しい活性をもつ物質の前駆体としての機能 9	
4 脂質の代謝 10	
5 脂質の病理学 11	
5.1 リピドシス(脂質の蓄積症) 11	
5.2 コレステロール代謝異常 12	
5.3 アラキドン酸代謝物、PAF の関連する病態 12	
5.4 抗-リン脂質抗体症候群 13	
5.5 過酸化脂質 13	
6 「今後の展望」および「おわりに」 13	
文 献 14	

## II 脂質の化学

2 脂質の分析.....	高木 徹...19
1 脂肪酸分析 19	
1.1 定量用標準化毛細管 GC カラム 19	
1.2 超長鎖ポリエン脂肪酸 20	
1.3 ヒドロキシ-ポリエン脂肪酸エナンチオマー 20	
1.4 モノエン脂肪酸異性体分析 20	
2 単純脂質 21	
2.1 モノアシルグリセロール 21	
2.2 ジアシルグリセロール 22	
2.3 トリアシルグリセロール 24	
3 複合脂質 28	
3.1 HPLC によるリン脂質クラスの分離、分析 28	
3.2 リン脂質の分子種分析 29	
文 献 30	

<b>3 脂質の物性——構造の多様性と相転移</b>	佐藤清隆…33
1 融液の構造 33	4 混酸型トリアシルグリセロールの多形
2 飽和脂肪酸の結晶物性 35	構造 42
3 1価シス不飽和脂肪酸の結晶多形と物 性 39	文 献 45
<b>4 脂質の機能膜としての利用</b>	岡畑恵雄…47
1 合成二分子膜 47	4 化学受容器モデルとしての脂質固定化
2 二分子膜被覆カプセル膜 50	フィルム 53
3 二分子膜固定化フィルム 51	文 献 57
<b>5 脂肪酸の化学反応</b>	岡原光男…61
1 カルボキシル基の反応 61	1.8 その他のカルボキシル基の反応 64
1.1 脂肪酸金属塩の生成 61	脂肪酸塩の熱分解 64 / 電気化学反応
1.2 エステル化 61	65 / ハロゲンとの反応によるアルキル ハライドの生成 65 / 放射線分解 65
アルコールとの反応 61 / その他のエ ステル合成法 62 / 特殊な脂肪酸エス テル 62	2 脂肪酸のアルキル鎖の諸反応 65
1.3 脂肪酸ハロゲン化物 62	2.1 飽和アルキル鎖のラジカル置換反応 65
1.4 酸無水物の生成 62	2.2 $\alpha$ -メチレン基の反応 65
1.5 脂肪酸の還元 63	$\alpha$ -ハロゲン化 65 / $\alpha$ -スルホン化 66 / $\alpha$ -カルバニオンの諸反応 66
長鎖アルコール 63 / 長鎖アルデヒド 63	2.3 不飽和結合の諸反応 66
1.6 過酸、ジアシルペルオキシドおよびペル オキシエステルの生成 63	還元 66 / 酸化 66 / 二重結合への 付加反応 66
1.7 含窒素誘導体の生成 64	2.4 メタセシス 68
	文 献 69
<b>6 脂 質 の 酸 化</b>	二木銳雄…71
1 非酵素的ラジカル連鎖酸化反応 71	1.4 脂質ヒドロペルオキシドの二次反応 75
1.1 モノエンの酸化 72	2 非酵素的非ラジカル酸化反応 76
1.2 ジエンの酸化 72	3 酵素的酸化反応 77
1.3 二重結合を3個以上もつポリエンの酸化 74	文 献 79
<b>III 脂 質 の 生 化 学</b>	
<b>7 高速液体クロマトグラフィーによる脂質分析の進歩</b>	中川靖一…83
1 脂質分析での HPLC の有用性 84	2 HPLC による脂質分析 85
1.1 高分離能 84	2.1 中性脂質の分離 85
1.2 高感度検出 84	中性脂質クラスの分離 85 / 脂肪酸の 分離 86 / トリアシルグリセロール分
1.3 その他 85	

子種の分離 88	3 生体膜リン脂質分子種分析への HPLC の応用 93
2.2 リン脂質の分離 89	文 献 95
リン脂質クラスの分離 90 / リン脂質 分子種の分離 91	
<b>8 動物細胞リン脂質の生合成と機能——その体細胞遺伝学的 アプローチ</b> ..... 西島正弘...97	
1 セルロース濾紙あるいはポリエステル 布を用いた哺乳類培養細胞の膜リン脂 質代謝変異株の分離 97	2.3 ホスファチジルセリン(PS)の生合成 103
2 動物細胞膜リン脂質生合成 101	2.4 PE の生合成 105
2.1 ホスファチジン酸(PA)とジグリセリド (DG)の生合成 101	2.5 CDP-DG の生合成 106
2.2 PC の生合成 102	2.6 PG と CL の生合成 106
	2.7 PI の生合成 106
	2.8 スフィンゴミエリン(SM)の生合成 107
	文 献 108
<b>9 脂質の生理活性</b> ..... 安藤 進...109	
1 生体膜の脂質構築の特徴 109	4.1 ホスファチジルセリン(PS) 114
2 特殊な膜構造をつくる脂質 111	4.2 ガングリオシド 115
3 膜機能をモジュレートする脂質 112	5 脂質代謝物の生物活性 116
4 神経機能を賦活する脂質 114	文 献 118
<b>10 脂質の栄養と代謝——必須脂肪酸</b> ..... 島崎弘幸...121	
1 必須脂肪酸の発見 121	3.2 リノール酸の欠乏と栄養所要量 126
2 必須脂肪酸の化学 122	3.3 $\alpha$ -リノレン酸の欠乏と栄養所要量 126
2.1 脂肪酸の分類 122	4 アトピー性皮膚炎とPUFA組成 127
2.2 必須脂肪酸の化学構造 122	5 $\alpha$ -リノレン酸と学習能 128
3 必須脂肪酸と栄養 125	文 献 129
3.1 食用油脂と必須脂肪酸の含有量 125	
<b>11 リポタンパク代謝と疾患</b> ..... 宮原忠夫...131	
1 血漿脂質代謝とその異常 131	4.6 高 Lp(a) 血症 138
2 高脂血症の診断基準 132	5 二次性(続発性)高脂血症 138
3 血漿脂質異常をきたす疾患 133	6 低脂血症 138
4 原発性高脂血症 134	6.1 無 $\beta$ リポタンパク血症、低 $\beta$ リポタンパ ク血症 138
4.1 原発性高カイロミクリン血症 134	6.2 家族性低 HDL 血症 139
4.2 高コレステロール血症 135	7 高脂血症と動脈硬化症 140
4.3 IV型高リポタンパク血症 137	文 献 140
4.4 家族性III型高脂血症 137	
4.5 原発性高 HDL-C 血症 138	

<b>12 プロスタグランジンの合成と医薬</b>	池上四郎, 橋本俊一...143
1 血小板凝集／阻止系に関連する PG 生合成と医薬創製の背景	143
2 プロスタサイクリン関連類縁体	144
3 カルバサイクリンと関連類縁体	146
4 イソカルバサイクリンと関連類縁体	150
文 献	152
<b>13 脂質とドラッグ・デリバリー・システム</b>	山内仁史...155
1 脂質と分子集合体	155
2 リポソーム	157
2.1 リポソームの特徴	157
2.2 リポソームの薬物への応用	159
キャリアーとしての応用	159 / 細網
内皮系回避への応用	161 / アクティ
ブターゲティングへの応用	162 / そ
の他のリポソームの応用	163 / リボ
ソームを用いるうえでの留意点	164
3 リピッドマイクロスフェア	164
4 脂質を用いたその他の DDS への試み	164
4.1 低密度リボタンパク質を用いた DDS	164
4.2 牛乳脂肪球被膜	165
4.3 レシチン化活性タンパク	165
文 献	166
<b>CHEMISTRY AND BIOCHEMISTRY OF LIPIDS : ABSTRACTS</b>	169
<b>索 引</b>	175

著者紹介 142, 168